

三一〇三番

逢はなくは 然もありなむ 玉梓の 使ひをだに
も 待ちやかねてむ

三一〇四番

逢はむとは 千度思へど あり通ふ 人目を多み
恋ひつつそ居る

三一〇五番

人目多み 直に逢はずて けだしくも 我が恋ひ
死なば 誰が名ならむも

三一〇六番

相見まく 欲しきがためは 君よりも 我そまさ
りて いふかしみする